

クロストリジウム・サーモセルルム由来のアセチルキシランエステラーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-1195

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、アセチルキシランエステラーゼ（EC 3.1.1.72）は、キシランおよびキシロオリゴ糖の脱アセチル化という化学反応を触媒する酵素です。この酵素は加水分解酵素のファミリーに属し、特にカルボン酸エステル結合に作用するものです。

別名 アセチルキシランエステラーゼ; EC 3.1.1.72; 188959-24-2; 9000-82-2

製品情報

由来 クロストリジウム・テルモセラム

形態 3.2 M 硫酸アンモニウムで供給されます

EC番号 EC 3.1.1.72

CAS登録番号 188959-24-2;9000-82-2

分子量 37700 Da

純度 > SDS-PAGEによって判断された95%

活性 175 U/mg

濃度 262.5 U/ml

最適pH 7

最適温度 50°C

単位定義 1ユニットは、50 mMリン酸緩衝液（pH 7）中で、1 mg/mlのBSAを含む50°Cで、p-nitrophenyl acetate（1 mM）から1 μmolのp-nitrophenolを1分間に放出するのに必要な酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法 4°Cで保管してください（常温で発送されます）